

Kentex

CLAFТСMAN PRO 7750

ETA Valjoux 7750



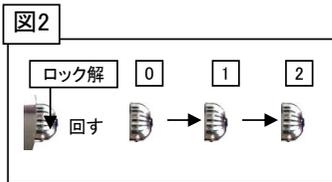
図1

- クロノグラフ秒針
- クロノグラフ30分計
- 通常秒針
- 時針
- クロノグラフ12時間計

- 分針
- Aボタン
- リューズ
- 曜日・日付
- Bボタン(リセット)

※機械式時計は精密なパーツが組み込まれた、非常にデリケートな精密機械です。ご使用前に、この取扱説明書と、添付の小冊子の機械式時計の解説の部分を注意深くお読みの上、操作に入ることを強くお勧め致します。

操作方法



- ①ネジの開放**
リューズはネジ込みロック式となっています。リューズをゆっくりと6時方向に回してください。5・6回転程度で、リューズのロックが解除されます(図2の0位置)。この位置でリューズを12時方向に回すと、ゼンマイの巻き上げが出来ます。
- ②デイ・デイトカレンダーの修正**
リューズを一段引き出し、1の位置にします。この位置でリューズを12時方向に回すと日付の修正。6時方向に回すと曜日の修正が出来ます。

- ③時刻の修正**
リューズを更に引き出し、2の位置にします。この位置でリューズを操作すると時刻(時・分)の修正が出来ます。

全ての作業が終了したら、リューズを押し付けながら12時方向に回転させ、ネジをゆっくりと固くなるまで締めてください。この時リューズを力任せにめいっばい締め付ける必要はありません。ねじ山が崩れるなど、故障の原因となる場合があります。

○デイ・デイトカレンダーの修正の時には昼夜のずれが生じないよう時針を動かし、夜の12時のカレンダー送りを確認してから、午前、午後の時刻合わせをすることをお勧めします。

○時計が止まっている時はリューズを回転させ、ゼンマイの巻き上げをしてください。約30回くらいでフル巻きとなり、約42時間の持続時間があります。巻き上げ過ぎによるゼンマイの故障の心配はありません。

■ クロノグラフの使用方法

クロノグラフ機能は、センタークロノ秒針、30分計、12時間計の計測が出来ます。

- ①ボタンA**
一回押しでスタート、二回目を押すとストップします。三回目を押すと再スタートします。この機能によって、合計タイムから必要な時間を差し引いたり、または短い時間の集計を出すことが出来ます。

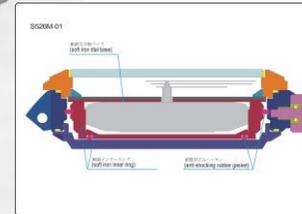
- ②ボタンB**
クロノグラフを0位置にリセットします。

クラフツマンプロ7750が持つスーパー実力を徹底解明!



1. 強化耐磁性能 & 耐衝撃

軟鉄製中枠と二重貼りの文字板で64000A/mという高い耐磁性を実現。最近のデータでは日常使用する携帯電話でも30000A/mを超える磁気が発生することもあるという。クラフツマンプロは機械式時計の弱点である磁気帯びによる精度狂いからムーブを保護する事ができる。



<図>
特殊な樽型形状をしたパッキンをケース内部と軟鉄製中枠の間に配置、さらに裏蓋との間にもパッキンを緩衝材として入れることで万が一の強い衝撃にも耐えられるように設計。

2. 抜群の視認性(トリチウムガス発光システム)

どんな暗闇の状況の中でも時刻を確認できるかどうかは時計本来の実用性を考慮した時に重要な機能といえる。クラフツマンプロは20年以上も光り続けるトリチウムガスを封入したスイスMBマイクロテクス社のマイクロガスシステムを文字板と針に採用することでこれを実現した。



3. ノンアレルギーで軽い。

クラフツマンプロ7750はケース、バンドに軽くて強靱なチタン材を採用。機械式自動巻き時計で本格耐磁構造を採用しながら総重量約125g前後の日常気軽に使われる軽さを実現している。チタンはノンアレルギーでステンレスのように人によりかぶれることがない。また冬の寒い日に時計を腕につけるとヒヤッと冷たくない利点もあり肌に優しい素材といえる。

4. 商品仕様

ムーブメント	スイス ETA Valjoux 7750 ハイビート自動巻き
ケース	チタン材 43ミリ 強化耐磁構造(64000A/m) 耐衝撃構造
防水性能	100m強化防水 ねじロックリューズ
文字板&針	格子型打ち模様 ブラック パーインデックスはトリチウムガス管(文字板12個、針2個) アラビアインデックスはスーパー蓄光仕様
ガラス	サファイアクリスタル(両面無反射コーティングつき)
バンド	チタン材 三つ折れタイプバックル(ソリッドタイプ)
限定生産	77個の限定で01/77からのシリアルナンバーつき

■ ご注意いただきたいこと ※大切な時計を長くご愛用いただくために、以下の事項をお守りください。
☆カレンダー(日付・曜日)の早送りは午後9時~午前3時の間は避けてください。故障の原因となります。
☆機械式時計には、クロノグラフ秒針の0位置修正機能は付いておりません。機械部分の磨耗等により0位置に戻らなかった場合は、メンテナンス・オーバーホールの必要が有る場合があります。無理なご使用にならないでください。
☆リューズのネジ締めは優しく行うようにしてください。力で無理に押し込んだりねじ込んだりいたしますと、ネジ山を崩してしまうことがあります。また、ある程度固く閉めたところで止めてください。必要以上に力いっぱいネジを締めますと、ネジパイプ取れの原因となります。